

2021年3月期 第2四半期決算説明資料

2020年11月27日
綜研化学株式会社

1. 新中期経営計画(New Value 2022)概要
2. 2021年3月期 上期(第2四半期)連結決算
3. 2021年3月期 通期業績見通し

- 1. 新中期経営計画(New Value 2022)概要**
2. 2021年3月期 上期(第2四半期)連結決算
3. 2021年3月期 通期業績見通し

◆「New Value 2019」基本方針

中国・東南アジア地域での事業規模拡大と収益性向上
新たな製品・サービスの創出、成長投資の積極拡大

◆重点施策

- ① 既存事業の事業領域拡大と収益性向上
- ② 将来に向けた新たな製品・サービスの創出
- ③ 安全性・生産性・環境対応力強化による競争優位性確保
- ④ 持続的成長を支える経営基盤の強化
- ⑤ 環境変化に適応する多様な人材の確保・育成

◆数値目標

(2019年度)

連結売上高 340億円 連結営業利益 30億円

売上高営業利益率 8.8% ROA 8%以上 ROE 9%以上

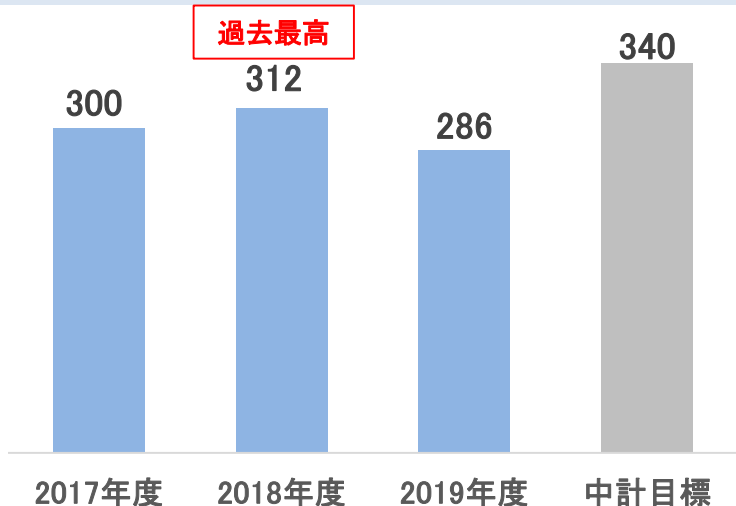
(2017～2019年累計)

設備投資 55億円 成長投資 30億円

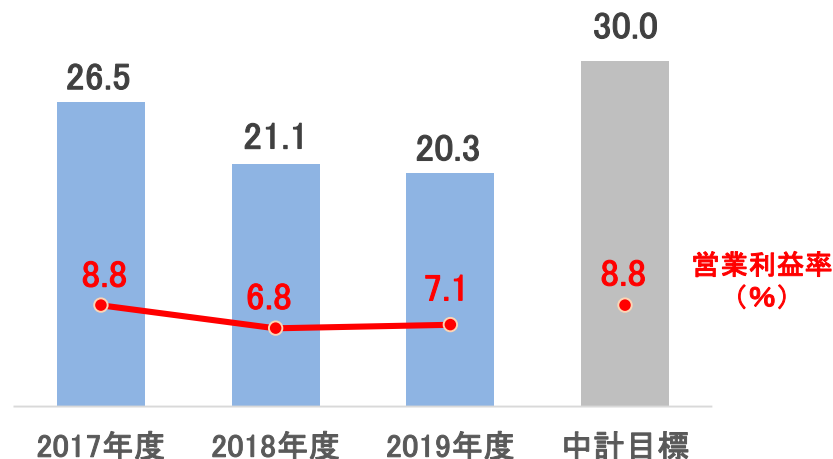
前中期経営計画(2017～2019年度)総括②

◆2017～2019年度の業績推移

売上高 (億円)



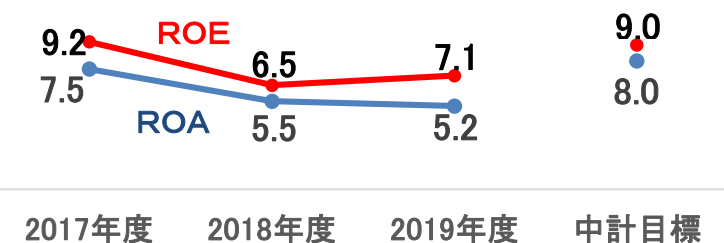
営業利益 (億円)



- ・米中貿易摩擦の激化に伴う中国景気減速
- ・液晶ディスプレイ関連分野での生産調整

→ 2019年度目標値未達

経営指標 (%)



設備投資 (億円)

2017～2019年度累計
51億円 (目標: 85億円)

◆2017～2019年度の取り組み成果・今後の課題

既存事業の収益基盤強化

- ・ 中国液晶ディスプレイ関連分野を中心に既存製品のシェア拡大
- ・ 環境配慮型製品による自動車・建材分野等での販売拡大
- ・ 浜岡工場での粘着剤生産設備の増強、南京工場での粘着剤生産設備増強計画推進
- ・ グループ最適化を目指した営業・生産・開発・管理体制の整備・強化

新製品・新地域開拓の推進

- ・ 建材、電子材料分野向けの新規有望案件獲得
- ・ インド市場での現地企業との提携による販売実績獲得

新規事業開発の停滞

- ・ ナノインプリント製品の事業化中断
- ・ 成長期待分野向けの新規材料開発・商品化遅延

市場環境変化に左右されうる事業構造

- ・ 液晶ディスプレイ関連分野への業績依存度が高い
- ・ 原料価格の高騰や価格競争の激化に伴う収益性の悪化

◆基本戦略

◇収益基盤の拡大・強化

- ・ 中国への生産集約化が進む液晶ディスプレイ関連分野での市場シェア拡大
- ・ アジア地域を中心に海外での更なる事業拡大

◇新たな成長基盤の構築

① 次世代の柱となる事業領域の創出

- ・ 自動車、エネルギー、医療・ヘルスケアなどの成長が期待される分野において、既存事業の枠組みを超えたグループ横断的な戦略体制の構築

② 継続的な新規事業の創出体制の構築

- ・ 将来の社会環境の変化や課題の中にビジネスチャンスを見出し、外部リソースを活用し、新規事業を継続的に創出するための開発・推進体制の構築

③ 持続的な成長を支える経営基盤の強化

- ・ 次世代を担うグローバル人材の育成・確保
- ・ グループ内の多様な人的リソースの有効活用に向けた人事インフラの構築
- ・ 成長を支えるグループ経営管理体制の強化

新中期経営計画(2020~2022年度)概要②

◆数値目標

《売上高・営業利益》

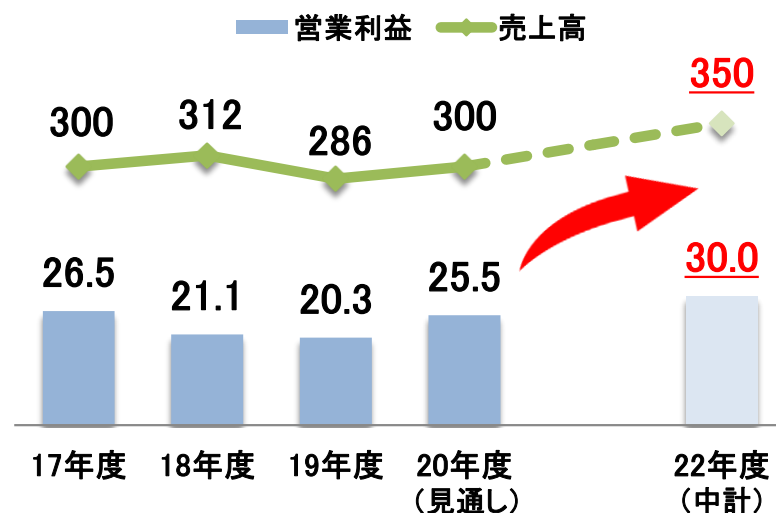
	2019年度実績	2022年度計画	増減
連結売上高	286億円	350億円	64億円、22%増
連結営業利益	20億円	30億円	10億円、50%増
売上高営業利益率	7.1%	8.5%	+1.4%
ROA	5%	8%以上	+3%以上
ROE	7%	9%以上	+2%以上

《投資計画》

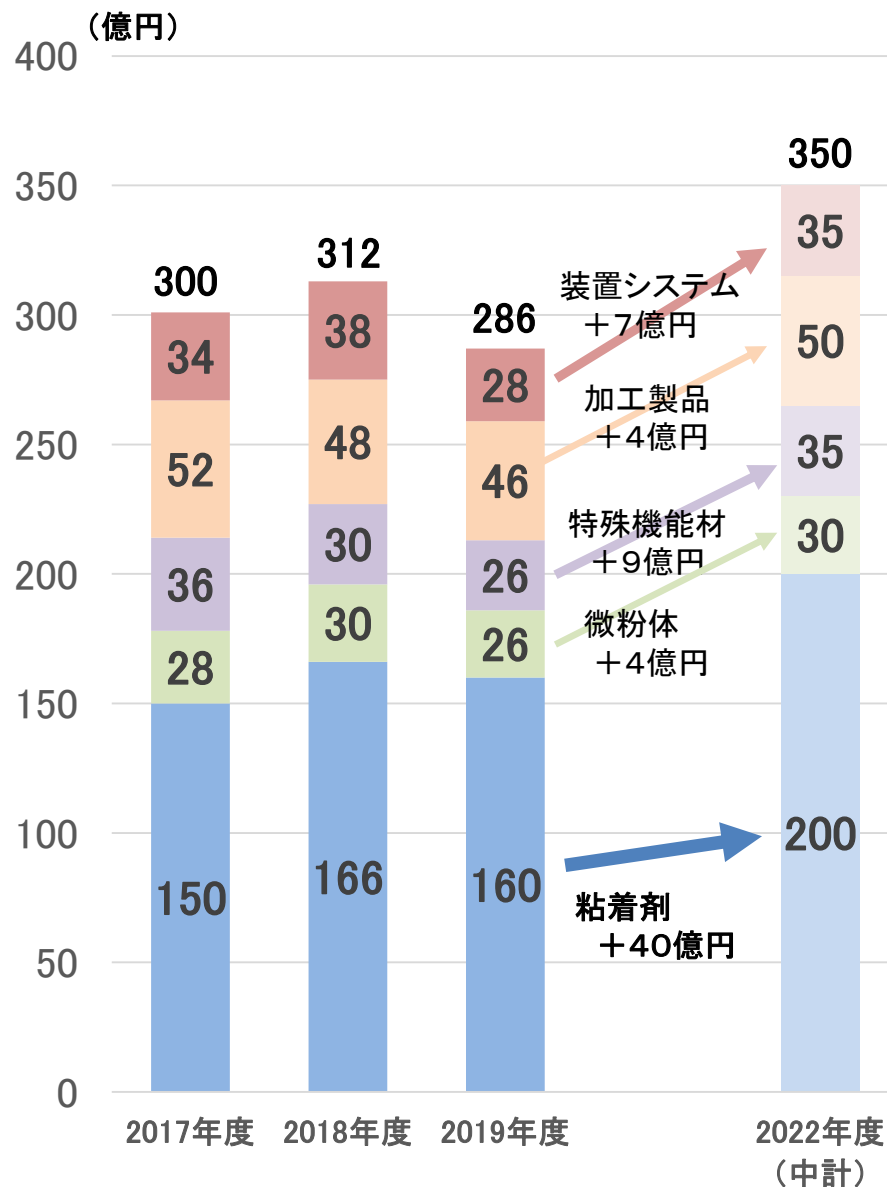
	2020~22年度計画
設備投資	70億円

主な設備投資

南京工場生産設備増強	22億円
浜岡工場物流関連設備他増強	14億円
新製品開発・新市場開拓	15億円
既存設備合理化・安全対応他	19億円



◆商品ユニット別売上高目標・施策



《粘着剤》

- ・ 液晶ディスプレイ分野での更なるシェア拡大
- ・ インド、中東、欧州等での市場・顧客開拓
- ・ 自動車等の成長分野での新製品開発・展開
- ・ 非アクリル等の環境配慮型高機能製品の開発

《微粉体》

- ・ 中国光拡散用途の高シェア維持と新地域展開
- ・ 電子部品、エネルギー分野での新規用途・顧客開拓

《特殊機能材》

- ・ 電子部品材料分野での販売拡大
- ・ 導電性樹脂等による販売拡大
- ・ 異種材料接合技術に対応した製品開発・展開

《加工製品》

- ・ 中国拠点を軸とするアジア地域での市場・顧客開拓
- ・ 中国自動車市場での環境配慮型製品の販売拡大
- ・ 医療、情報電子分野でのハイスペック製品の展開

《装置システム》

- ・ 設備診断サービス強化による安定収益基盤強化

1. 新中期経営計画(New Value 2022)概要
- 2. 2021年3月期 上期(第2四半期)連結決算**
3. 2021年3月期 通期業績見通し

2021年3月期 上期業績

- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け自動車、家電分野等の需要減少
- ✓ 中国市場を中心に液晶ディスプレイ関連分野の需要が回復

(百万円)

	2020年3月期 上期	2021年3月期 上期	前年同期比		2021年3月期 上期(計画)
			増減	%	
売上高	14,033	14,004	▲29	▲0.2	13,800
営業利益	1,044	1,430	386	37.0	1,250
営業利益率(%)	7.4	10.2	2.8		9.1
経常利益	878	1,482	604	68.8	1,250
当期純利益	708	1,192	484	68.4	1,000
1株当たり純利益(円)	85.57	145.02	59.45	69.5	121.27

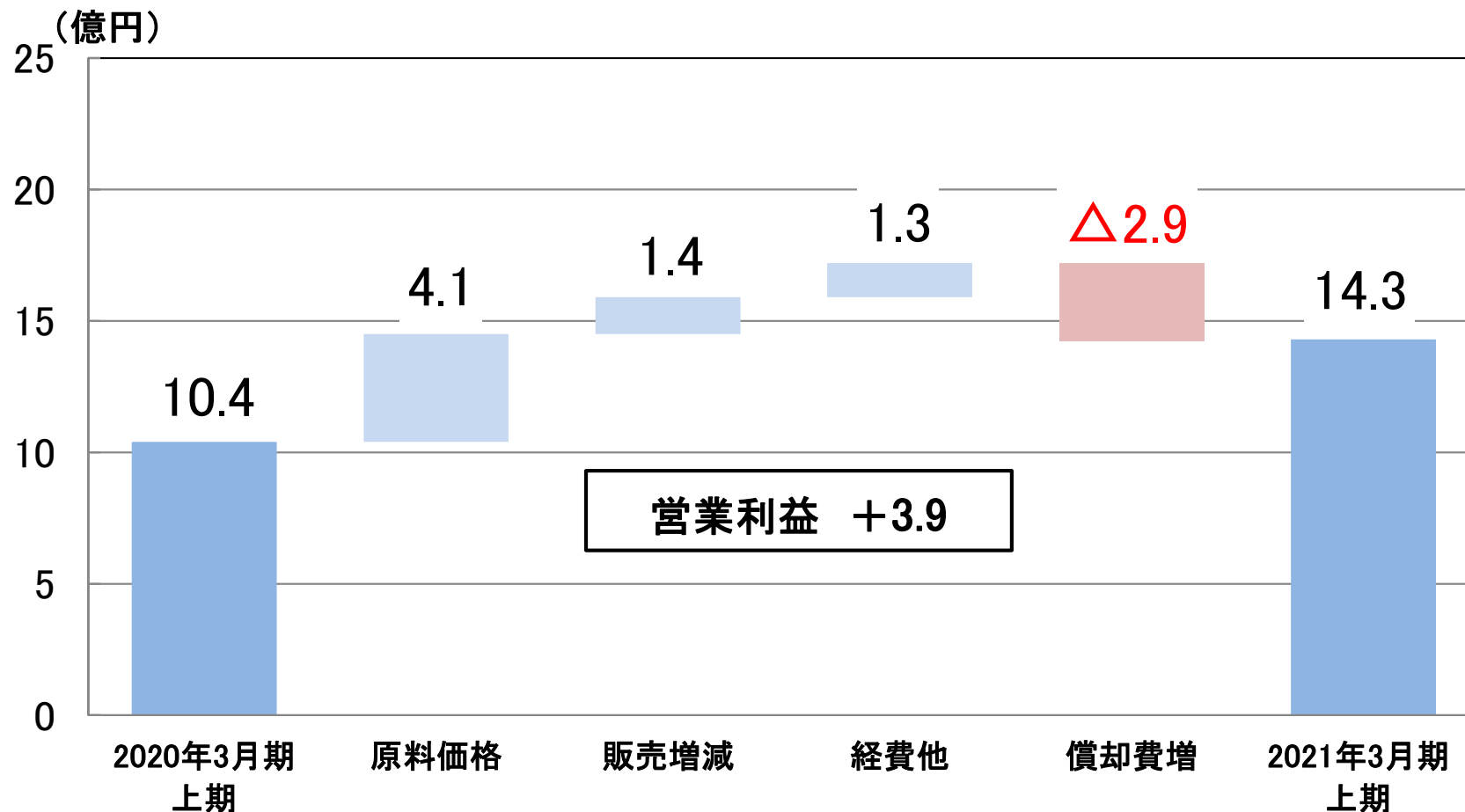
* 当期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を記載しております。

2021年3月期 上期セグメント別売上高

(百万円)

	2020年3月期 上期	2021年3月期 上期	前年同期比		2021年3月期 計画(上期)
			増減	%	
ケミカルズ	12,475	12,640	164	1.3	12,400
粘着剤	7,877	7,888	11	0.1	7,700
微粉体	1,280	1,245	▲34	▲2.7	1,200
特殊機能材	1,185	1,465	280	23.6	1,500
加工製品	2,132	2,041	▲91	▲4.3	2,000
装置システム	1,558	1,364	▲193	▲12.4	1,400
合計	14,033	14,004	▲29	▲0.2	13,800

- ✓ 原油価格の下落に伴う原材料費の減少
- ✓ 新型コロナウイルス感染防止策による活動経費の減少
- ✓ 中国市場を中心に液晶ディスプレイ関連分野の販売増
- ✓ 国内粘着剤生産設備稼働による償却費負担増



貸借対照表の状況

(百万円)

	2020年 3月末	2020年 9月末	増減		2020年 3月末	2020年 9月末	増減
流動資産	19,368	19,879	511	負債	12,086	11,978	▲107
現預金等	6,745	6,854	109	支払手形・買掛金	5,087	5,108	20
受取手形・売掛金	8,495	8,552	57	借入金	2,378	2,188	▲189
棚卸資産	3,789	4,177	387	退職給付に係る負債	1,858	1,890	32
その他	337	294	▲43	その他	2,761	2,791	29
固定資産	15,962	15,919	▲43	純資産	23,244	23,820	575
有形固定資産	13,713	13,713	▲0	株主資本	22,652	23,416	764
無形固定資産	408	374	▲33	その他の包括利益累計額	592	403	▲188
その他	1,840	1,831	▲9				
資産合計	35,331	35,798	467	負債・純資産 合計	35,331	35,798	467

キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	2020年3月期 上期	2021年3月期 上期	2021年3月期上期の 主な内容
営業活動による キャッシュフロー	1,597	2,255	税引前純利益 1,463 減価償却費 915 運転資金増等 ▲123
投資活動による キャッシュフロー	▲1,378	▲1,525	有形固定資産取得 ▲1,500
財務活動による キャッシュフロー	▲650	▲572	長期借入金返済 ▲120 配当金支払 ▲452
現金及び現金同等物 の増減額	▲444	109	
現金及び現金同等物 の期末残高	6,066	6,854	

1. 新中期経営計画(New Value 2022)概要
2. 2021年3月期 上期(第2四半期)連結決算
3. 2021年3月期 通期業績見通し

2021年3月期 業績見通し

- ✓ 前年度調整局面にあった液晶ディスプレイ関連分野の需要回復
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた自動車、家電分野等の需要も緩やかに回復

(百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (見通し)	前期比	
			増減	%
売上高	28,699	30,000	1,300	4.5
営業利益	2,034	2,550	515	25.3
営業利益率(%)	7.1	8.5	1.4	
経常利益	1,855	2,500	644	34.7
当期純利益	1,635	1,900	264	16.1
1株当たり純利益(円)	198.38	231.08	32.7	16.5

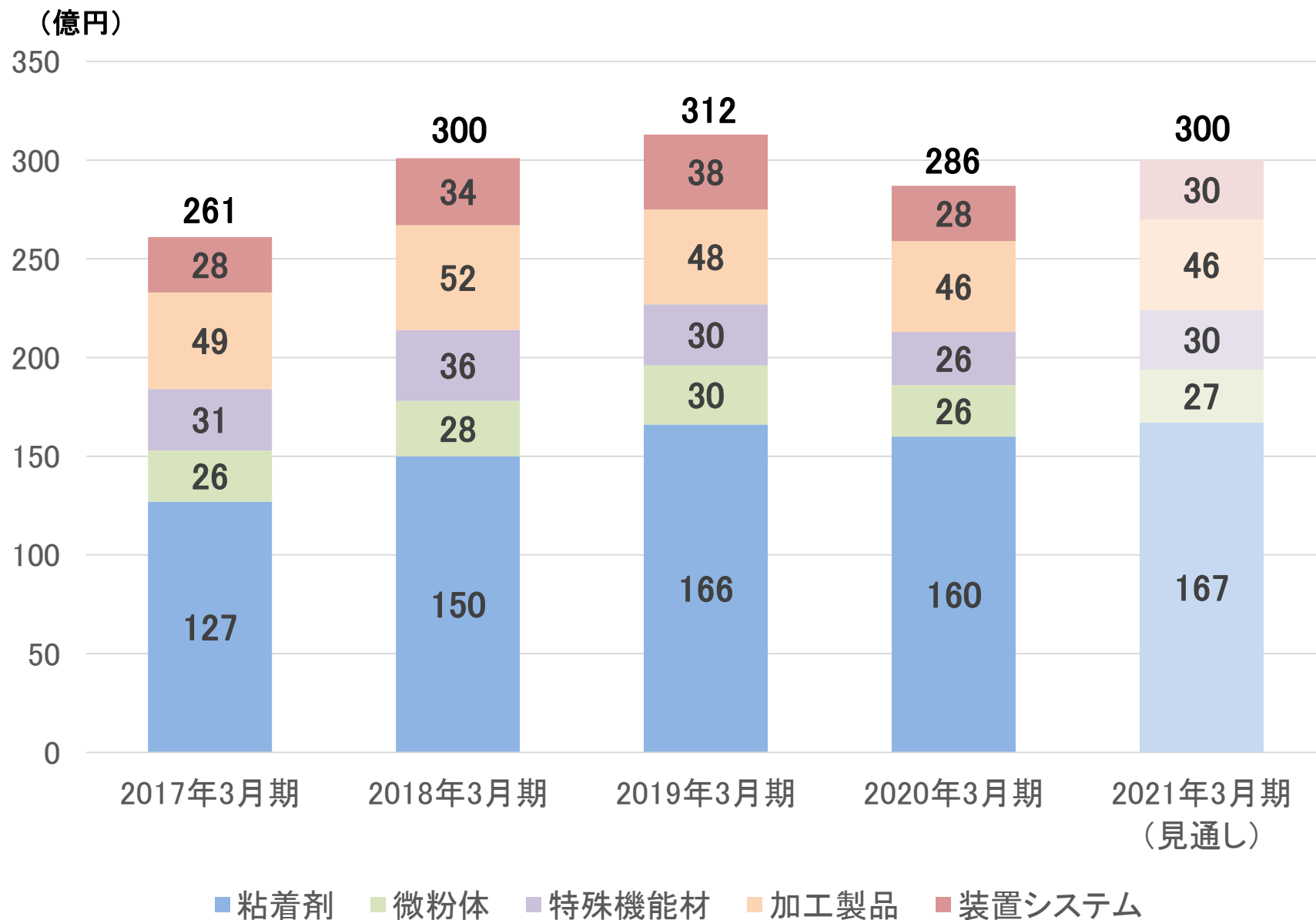
* 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しております。

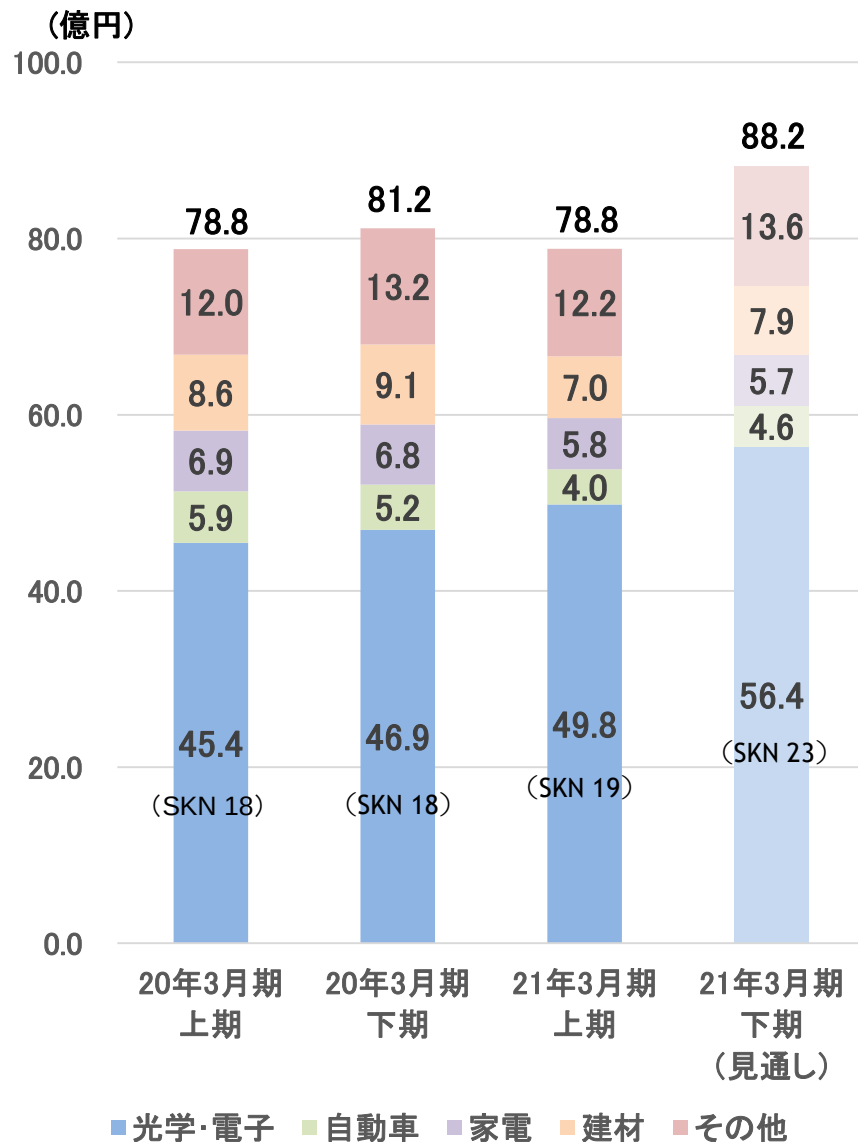
2021年3月期 セグメント別売上高

(百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (見通し)	前期比	
			増減	%
ケミカルズ	25,880	27,000	1,119	4.3
粘着剤	16,003	16,700	696	4.4
微粉体	2,639	2,700	60	2.3
特殊機能材	2,676	3,000	323	12.1
加工製品	4,560	4,600	39	0.9
装置システム	2,819	3,000	180	6.4
合計	28,699	30,000	1,300	4.5

商品ユニット別売上高推移





※ SKN: 中国子会社 綜研高新材料(南京)

	20年3月期 (実績)	21年3月期 (見通し)	増減
光学・電子	92.3	106.2	13.9
建材・自動車他	67.7	60.8	▲6.9
合計	160.0	167.0	7.0

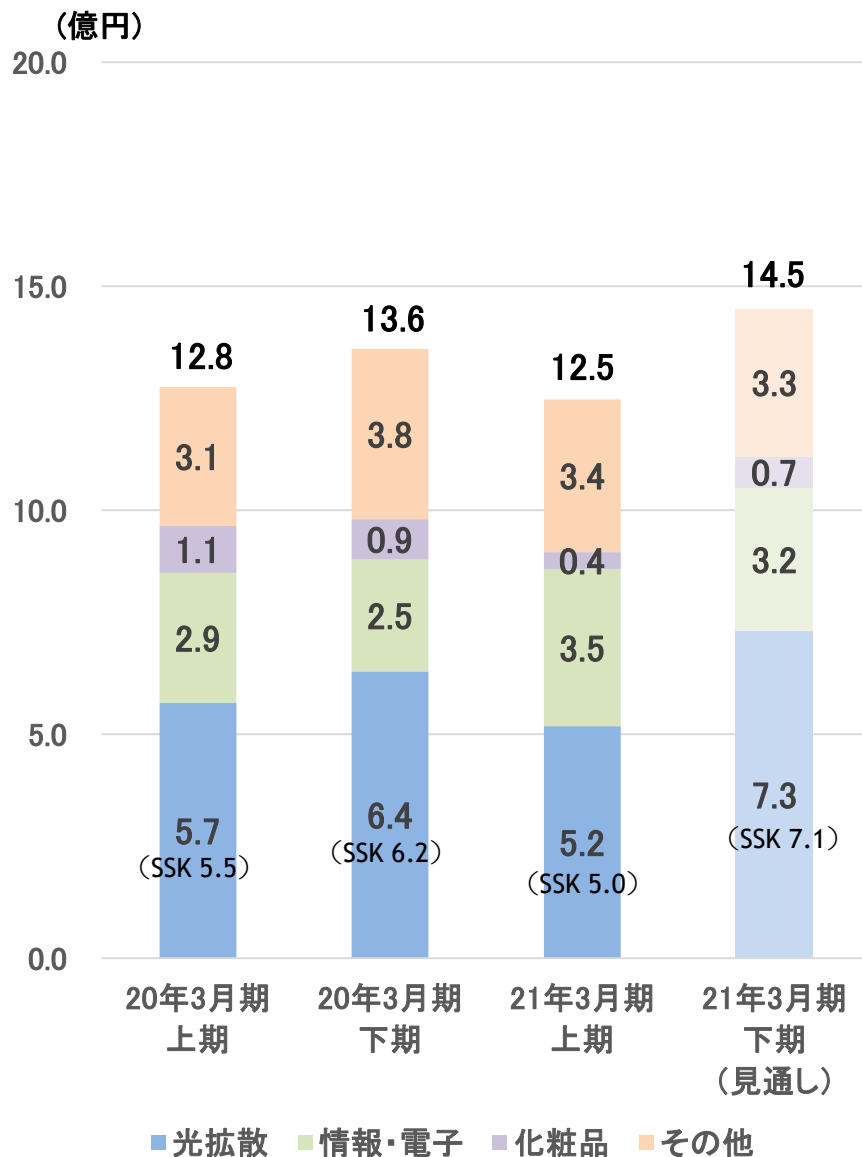
2021年3月期の取組み

○ 大型液晶ディスプレイ関連分野での販売拡大

- ・ 液晶ディスプレイ及び周辺分野での販売拡大
- ・ シェア拡大に対応した生産供給体制強化

○ 将来有望分野での事業領域拡大

- ・ 建材用途の顧客ニーズ対応強化
- ・ 自動車分野での新規用途開拓
- ・ 環境配慮型高機能製品の開発基盤強化
- ・ 他社協業によるインド市場開拓



※ SKK: 中国子会社 綜研化学(蘇州)

	20年3月期 (実績)	21年3月期 (見通し)	増減
光拡散	12.1	12.5	0.4
情報・電子他	14.3	14.5	0.2
合計	26.4	27.0	0.6

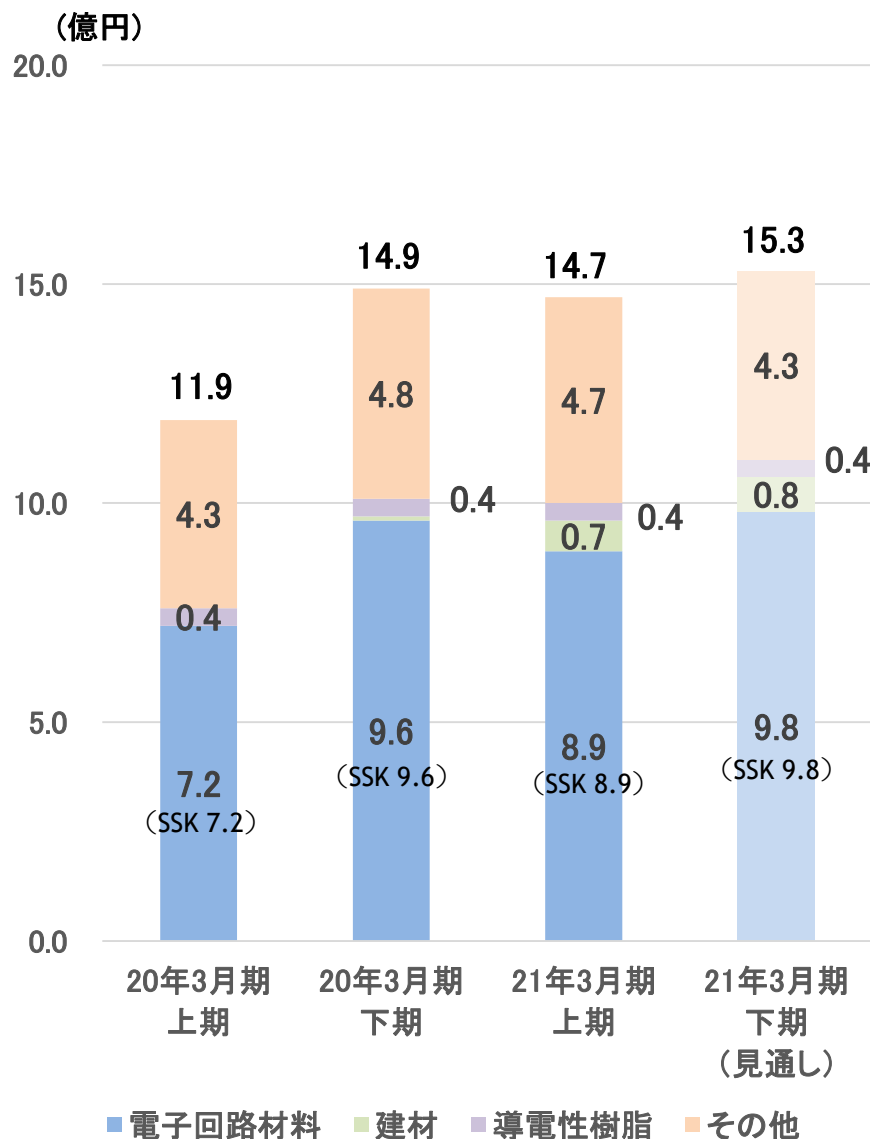
2021年3月期の取組み

○ 新規開発案件の採用獲得・販売拡大

- ・ 電子部品関連分野など新規用途の顧客開拓
- ・ 化粧品用途での環境配慮型製品の調査・開発

○ グループ生産体制の見直しによる収益体質改善

- ・ 供給体制の最適化による生産効率の向上
- ・ 生産プロセス改善等による収益性の向上



※ SKK: 中国子会社 綜研化学(蘇州)

	20年3月期 (実績)	21年3月期 (見通し)	増減
電子回路材料	16.8	18.7	1.9
建材他	10.0	11.3	1.3
合計	26.8	30.0	3.2

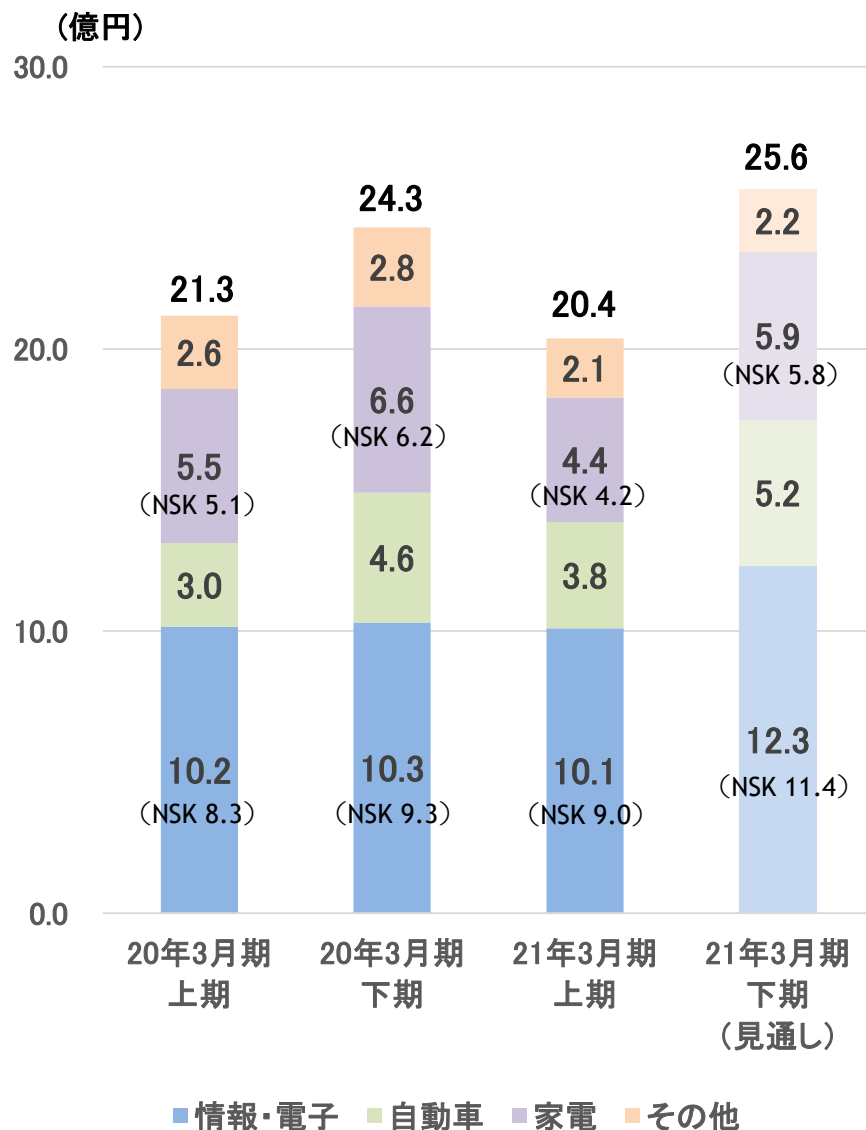
2021年3月期の取組み

○ 高付加価値製品の販売拡大

- 建材用途での販売拡大
- 電子部品用途の顧客開拓、販売拡大

○ 将来有望分野での新規用途・顧客開拓推進

- 導電性樹脂や電子部品関連分野での新規有望案件獲得



※ NSK: 中国子会社 寧波綜研化学

	20年3月期 (実績)	21年3月期 (見通し)	増減
情報・電子	20.5	22.4	1.9
自動車他	25.1	23.6	▲1.5
合計	45.6	46.0	0.4

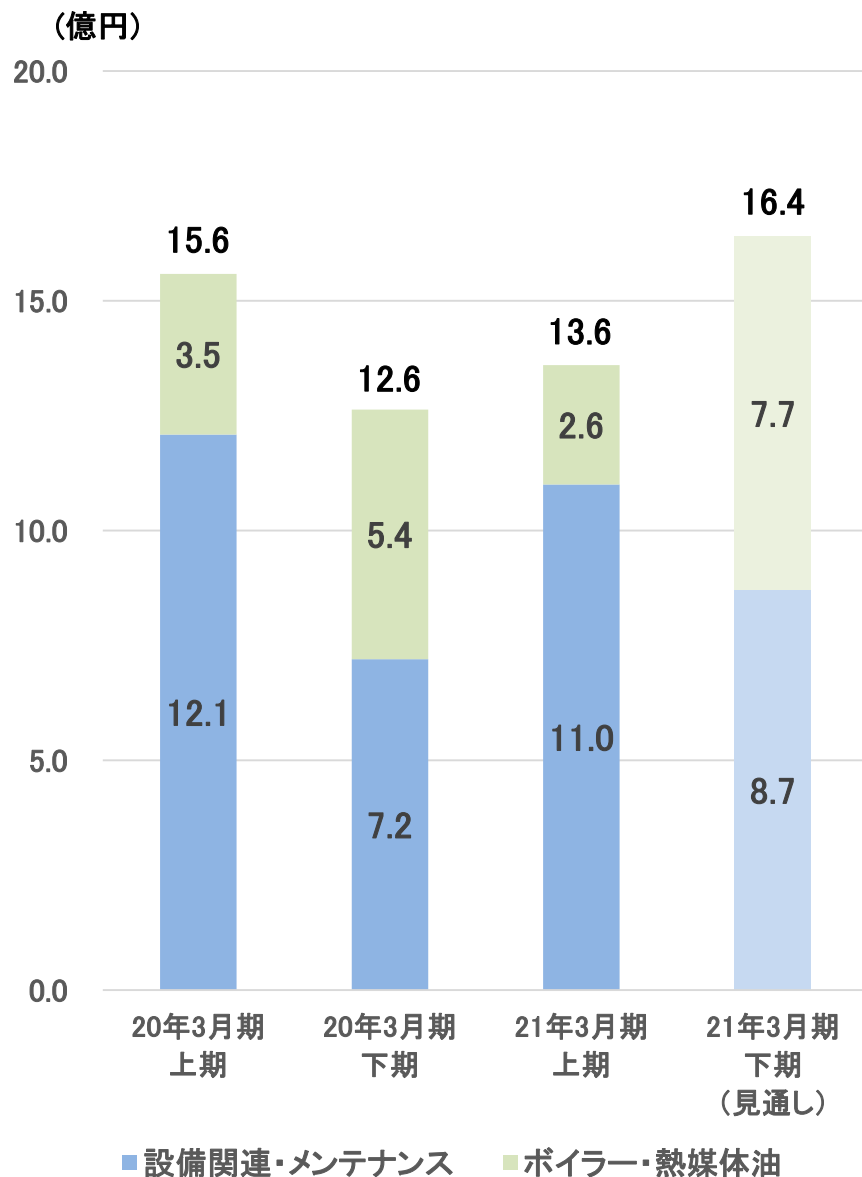
2021年3月期の取組み

○ 中国市場でのシェア拡大

- 自動車分野での営業体制強化による販売拡大
- 自動車・家電市場向け安価品による販売拡大

○ 高付加価値製品の販売拡大

- 医療・情報電子分野でのハイスペック製品による新規案件獲得



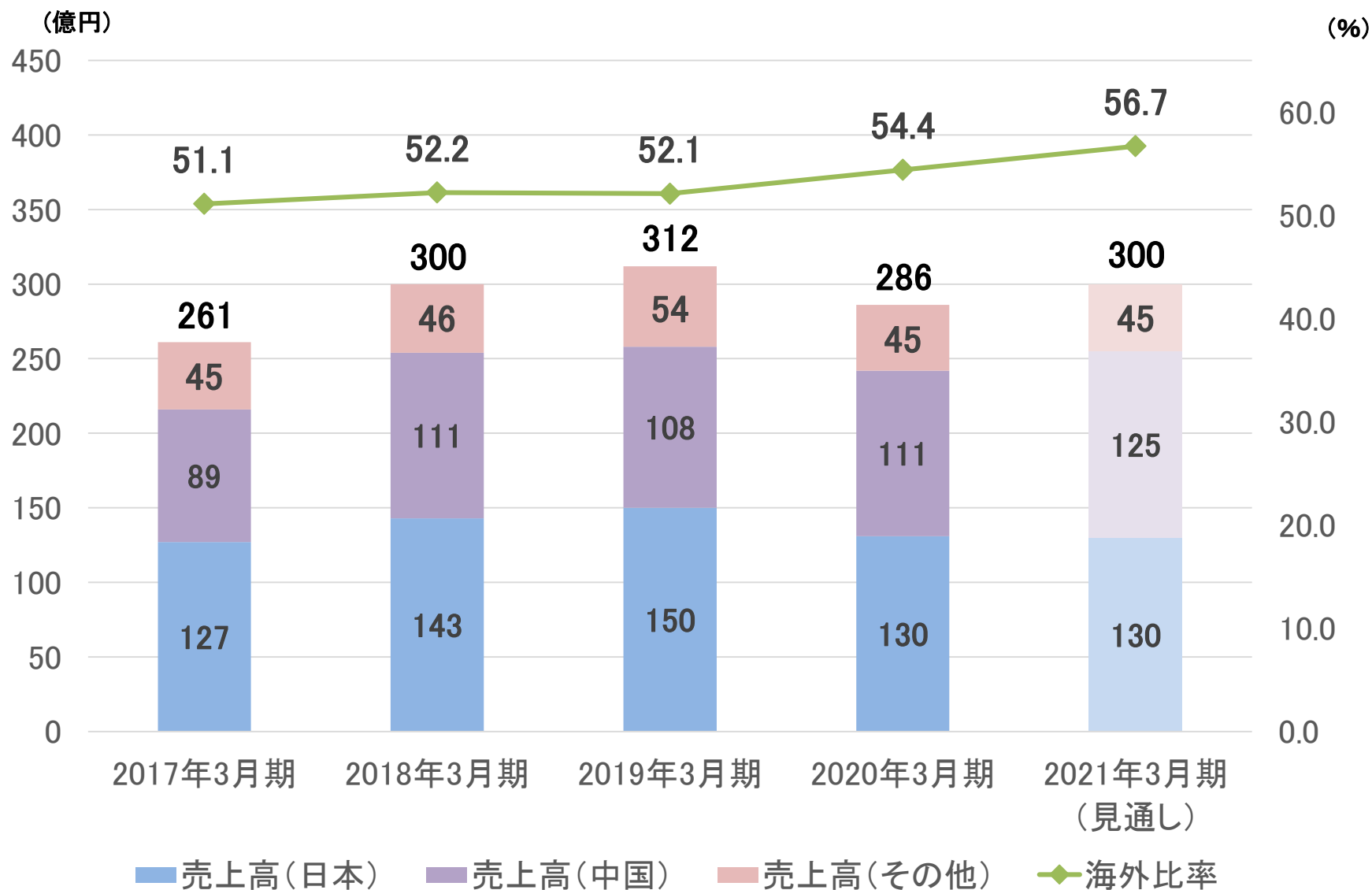
	20年3月期 (実績)	21年3月期 (見通し)	増減
設備関連・メンテナンス	19.3	19.7	0.4
ボイラー・熱媒体油	8.9	10.3	1.4
合計	28.2	30.0	1.8

2021年3月期の取組み

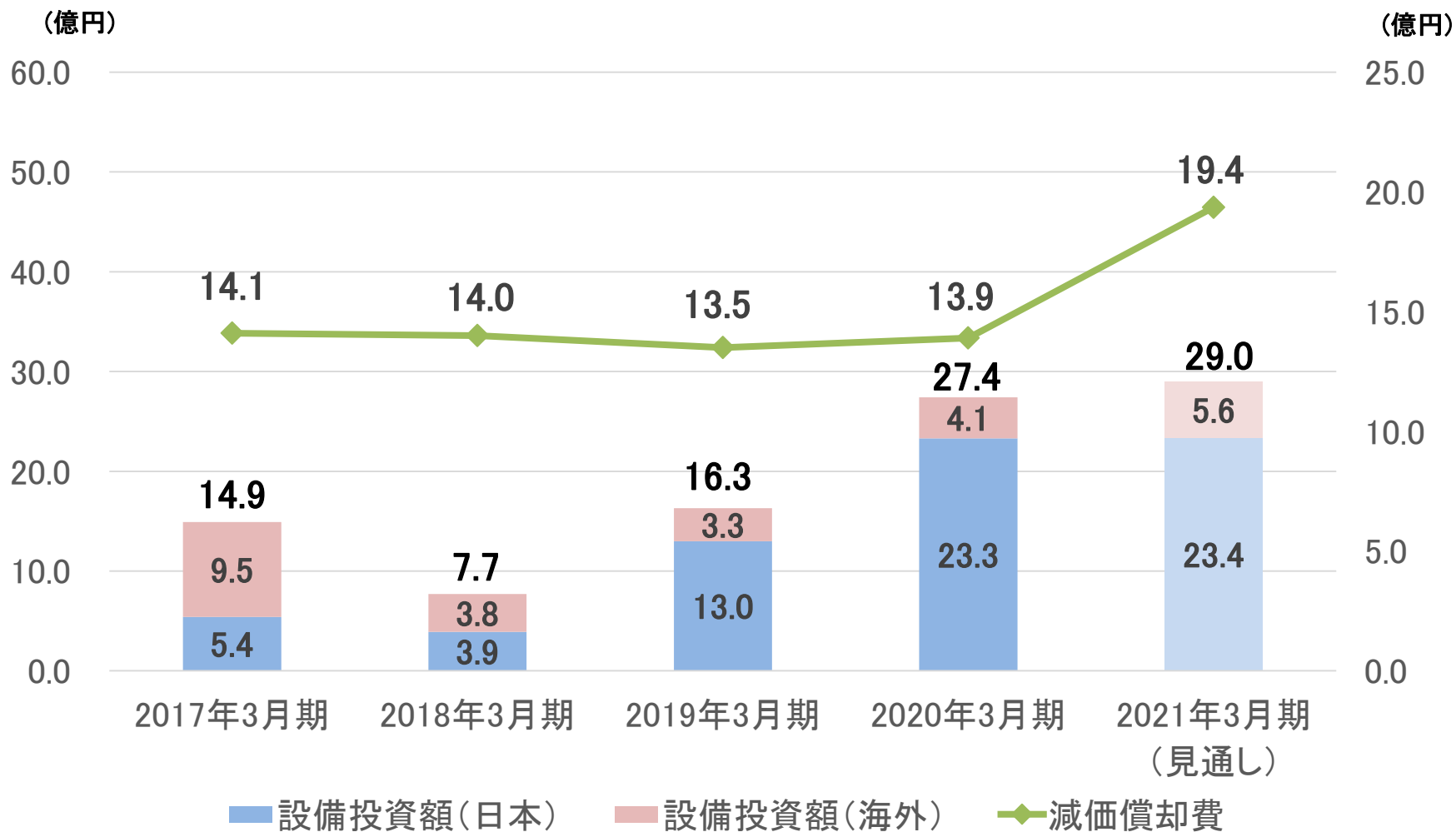
○ 環境変化に強い収益基盤の強化

- ・ 設備・ボイラー診断サービス強化によるメンテナンス需要の掘り起こし
- ・ 熱媒体油の劣化分析サービス強化による受注拡大
- ・ 3Dシステム等活用した新サービスによる提案型営業体制の強化

海外売上高推移



設備投資・減価償却費



主な設備投資(2021年3月期)

生産設備等合理化・更新 18.9億円、安全・環境・品質対応 3.0億円

参考資料

会社概要、事業内容

社名	綜研化学株式会社 (Soken Chemical & Engineering Co.,Ltd.)
創立	1948年9月2日
代表者	代表取締役社長 福田 純一郎
本社所在地	東京都豊島区高田3丁目29番5号
資本金	33億61百万円
証券コード	JASDAQコード:4972
事業内容	ケミカルズ : アクリル系粘着剤、機能性高分子、 有機微粒子、粘着テープ 装置システム : 熱媒体・熱媒ボイラー、 プラントエンジニアリング、メンテナンス
関係会社	連結子会社5社(国内1社、海外4社)
従業員数	連結 1,082名 / 単体 408名(2020年9月末時点)

経営理念

- 一、 私たちは常に誠実であるとともに
創造と工夫に情熱と責任を持って
挑戦しつづけます
- 一、 地球環境の保全を指向しつつ
社会に役立つ革新的製品を
提供します
- 一、 お客様には心からの満足を
株主の方々には共感を
そして私たちは働く喜びを
実現していくことに
最善を尽くします

コア技術

高分子合成技術

- ・ 分子設計
- ・ 粒子サイズコントロール
- ・ 無溶剤重合

&

重合装置技術

- ・ プラント設計
- ・ 大型翼攪拌装置
- ・ 熱媒体・熱媒ボイラー

機能発現・品質評価を追求する

研究開発力



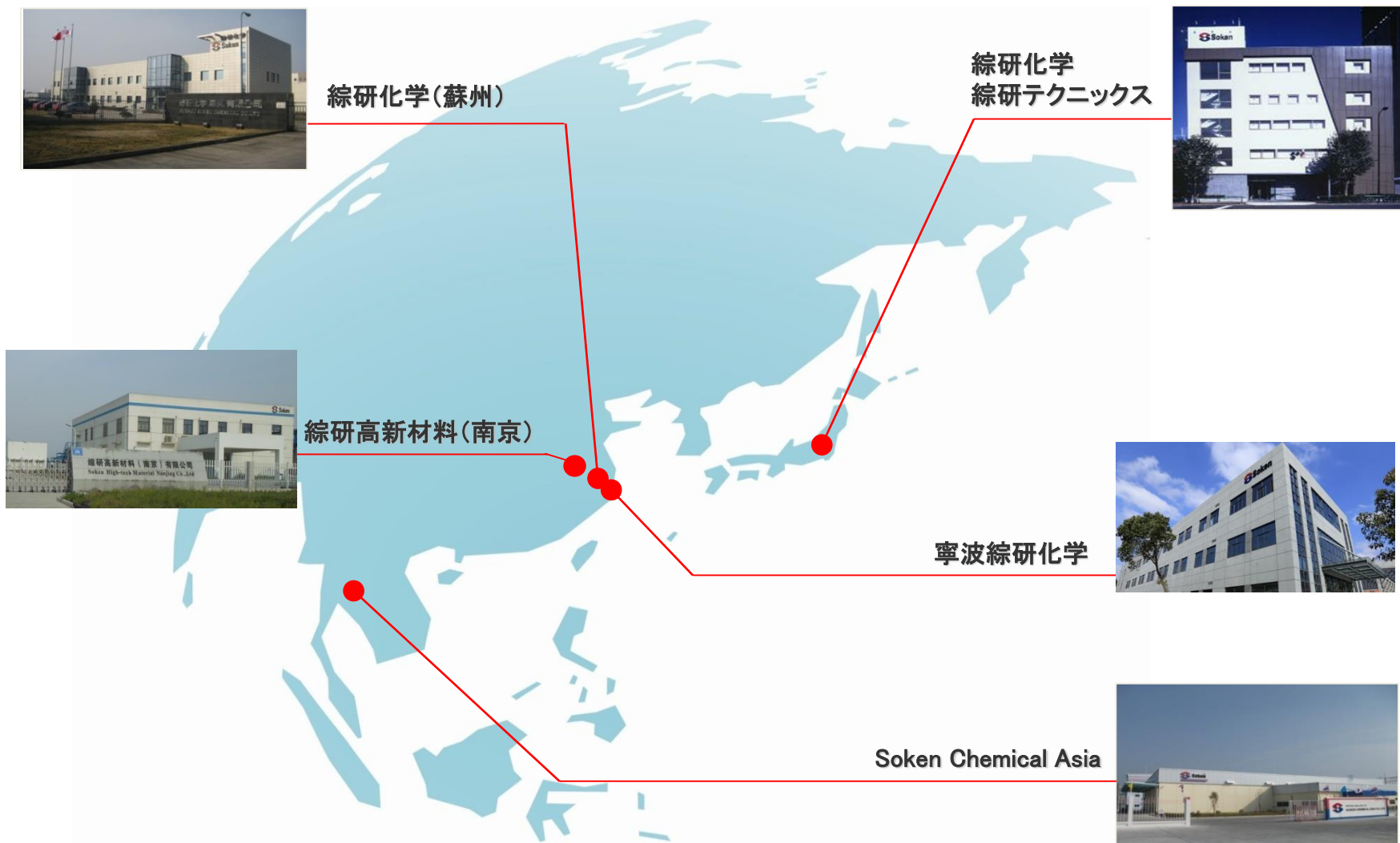
装置・システム技術を生かした

生産技術力



機能・品質・低コストの徹底追求

グループ会社の所在地



会社概要(グループ会社)

会社名 / 商品ユニット	出資比率	設立年	粘着剤	微粉体	特殊機能材	加工製品	装置システム
綜研化学	—	1948年	●	●	●	●	
綜研テクニックス	100	1997年					●
綜研化学(蘇州)	100	2002年	○	●	●		
寧波綜研化学	100	1994年	○			●	
綜研高新材料(南京)	100	2011年	●				
綜研化学アジア	100	2008年	●			●	

連結子会社

なお、持分法適用関連会社であった盤錦遼河綜研化学は、2019年12月9日に当社出資持分をすべて売却し、合併契約を解消しております。

ケミカルズ

■ 粘着剤

透明な合成樹脂溶液



用途：

LCD他光学フィルム用
両面テープ用
（家電・自動車等）
ラベル用
マーキングフィルム用

■ 微粉体

ナノからミクロンサイズの
合成樹脂粒子

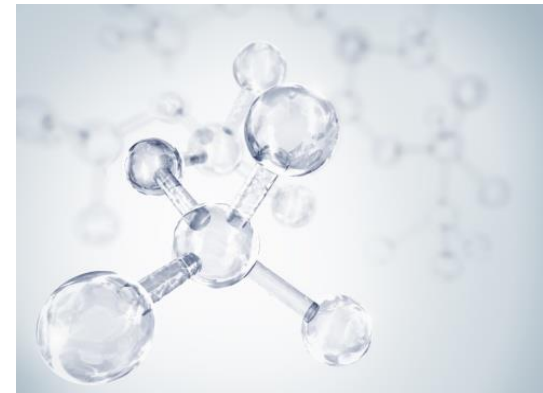


用途：

LCD光拡散用
化粧品用
トナー関連材料
フィルム用

■ 特殊機能材

様々な用途に応じた合成樹脂



用途：

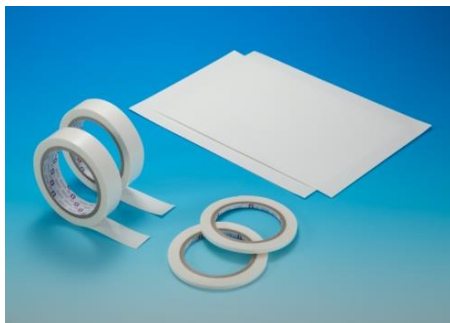
電子回路材料
インキ・塗料材料
トナー関連材料
導電性材料

ケミカルズ

■ 加工製品

粘着テープ

粘着剤を塗工した製品



用途:

家電・事務機等

(両面テープ)

自動車等

(両面テープ)

携帯電話等

(保護テープ)

装置システム



大型翼攪拌装置 (Hi-F)

熱媒ボイラー

熱媒体

メンテナンス

(注) 本資料中の予想は、決算発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

<お問い合わせ先>

綜研化学株式会社 経営管理部経営企画グループ

TEL 03-3983-3268

E-mail ir-soken@sokenchem.com